

事前評価個表

整理番号	14
------	----

地域(地区)名	ゆらがわ 由良川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	京都府	対象市町村	ふくちやまし 福知山市ほか7市町
事業実施期間	H28 ~ H32 (5年間)	事業実施主体	京都府、市町、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、京都府の北部に位置している。</p> <p>本地区の森林面積は185千ha、対象民有林は180千ha（森林全体の97%）、うち人工林は67千ha（人工林率37%）となっており、X齢級以上の森林が66%を占め、森林資源もますます充実している状況となっている。</p> <p>また、これまで、荒廃した森林の整備を進め、森林の公益的機能の向上を図るとともに、充実した森林資源の有効活用を図るため利用間伐を推進してきたが、台風等による集中的な豪雨がここ数年連続しており、平成26年8月の豪雨でも多数山地災害が発生するなど、地域住民の森林の公益的機能の向上に対する期待は一層高まっている。</p> <p>本計画では、これら地域の現状を踏まえ、引き続き、森林の公益的機能の持続的な発揮に向けて、間伐等の森林整備を積極的に実施することとし、持続的な森林経営の確立を図る観点から森林経営計画等に基づく計画的な森林整備と間伐材等の利用を推進する。</p> <p>具体的には、森林経営計画等に基づき、本事業による幼齢林の適時適切な保育施策を進めるとともに、集約化や森林作業道の整備等、間伐等をより効率的・効果的に行うために必要な基盤整備を積極的に進めることにより、本事業実施期間において、約6.4千haの間伐等を実施する。</p> <p>また、平成26年2月に全線開通した広域基幹林道等、既設林道等も有効に活用し、本地区内に存する市場や木材加工施設等と情報を共有しながら、森林整備により発生した間伐材等の安定供給を図り、資源の循環利用と地域林業の成長産業化を目指す。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：7,820ha 人工造林、樹下植栽、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、間伐、更新伐等</p> <p>総事業費：3,590,100千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 4.70 (総便益(B)=16,765,998千円、総費用(C)=3,563,978千円)</p>
評価結果	<p>必要性：本地区における森林施業の遅れは、近年の豪雨により頻発する山地災害や齢級構成の現状からも顕著であり、間伐等を中心とした森林整備の計画は森林の公益的機能を発揮させる上で必要である。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：既設の路網等も有効に活用しながら、間伐等により発生する間伐材を積極的に利用することとしており、地域資源の循環利用と地域林業の活性化に向け有効な計画である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 京都府

地域(地区)名: 由良川^{ゆらがわ}

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	3,994,659	
	流域貯水便益	1,332,161	
	水質浄化便益	3,421,577	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,640,682	
	土砂崩壊防止便益	7,324	
環境保全便益	炭素固定便益	784,616	
木材生産便益	生産確保・促進便益	2,584,979	
総 便 益 (B)		16,765,998	
総 費 用 (C)		3,563,978	
費用便益比	$B \div C = \frac{16,765,998}{3,563,978} = 4.70$		

森林環境保全整備事業 由良川地域(京都府)



凡 例	
	計画区界
	事業区域
	森林整備区域
	市町村役場
	木材市場

